政治の中心地の移り変わり

政治の中心地は、時代とともにどこへ移り、なぜそこが選ばれたのだろう



時代と政治の中心地

選ばれたわけは手がかりの例（諸説がある）

	時代	中心地	
1	飛鳥時代	飛鳥（宮）	天皇・豪族
	大和の豪族が力をもつ土地。宮はたびたび移った		
2	奈良時代	奈良（平城京）	天皇・貴族
	唐の都にならい、広い土地に大きな都をつくった		
3	平安時代	京都（平安京）	天皇・貴族
	川の水運が使え、物を運びやすい		
4	鎌倉時代	鎌倉（幕府）	武士
	三方を山、一方を海に囲まれ守りやすい。源氏ゆかりの地		
5	室町時代	京都（室町）	武士
	朝廷のある京都に幕府を開いた		
6	安土桃山時代	安土・大阪など	武士
	織田・豊臣が全国の統一を進めた（地図にはない）		
7	江戸時代	江戸（幕府）	武士
	家康の領地。広い関東平野と、海や川の水運		
8	明治以降	東京	政府
	江戸を東京と改め、天皇が移って政治の中心になった		

※ 地図は日本の中央部（海岸線は今の形）。中心地の位置はおよそ。選ばれたわけには諸説がある。